おくりもの

阿南市へ

●LED付き船形木工芸品

徳島市　神田　澄様から

阿南市地区赤十字奉仕団加茂谷支部へ

●赤十字災害用移動炊飯器一式（加茂谷公民館に設置）

宮崎商事株式会社様から日本赤十字社徳島県支部を通じて、災害時の炊き出しおよび地域の防災訓練等に使用のため

以上、ご寄贈いただきありがとうございました。

臨時的任用職員（ごみ収集作業）を募集

平成30年度に環境管理事務所において、臨時的に勤務する職員を募集します。

応募資格　平成12年4月2日以前に生まれた方

採用予定人員　12人程度

賃金　日額9500円

勤務時間　原則として月曜日～金曜日の午前7時30分～午後4時15分

申込方法　履歴書（市販のものに自筆、写真貼付）を人事課へ提出してください。試験案内は、申込期間中に人事課で配布します。

申込期間　2月6日㈫～27日㈫の午前8時30分～午後5時15分（土、日、祝日は除く）

試験内容　面接試験および体力テストを実施します。

試験日　3月2日㈮

問い合わせは　人事課（☎22－1112）へ

資源ごみ・粗大ごみの持ち去り防止にご協力をお願いします

近年、資源ごみ等の持ち去りが頻繁に発生しています。持ち去り防止のため、資源ごみ等の収集日には、できる限り収集開始の午前8時直前に、それぞれの収集場所へ出してください。

資源ごみの集団回収をご利用ください

資源ごみの持ち去りを防止する環境を整えるため、お近くの町内会や小中学校PTAなどの市に登録されている団体が行っている資源ごみの回収運動を積極的にご利用ください。

問い合わせは　環境管理課（☎22－3794）へ

市長通信

お元気ですか

阿南市長
岩浅嘉仁

～あまりにも悲しい写真～

「少年は気を付けの姿勢で、じっと前を見つづけた」。この写真は、1945年にアメリカ軍の元従軍カメラマン、故ジョー・オダネル氏（復員後は、ホワイトハウス付きカメラマンとしてトルーマンからニクソンまでの5代の大統領に仕えました）が、原爆投下後の長崎で撮ったものです。彼の著作から当時のようすを抜粋します。「この少年が死んでしまった弟をつれて焼き場にやってきたとき、私は初めて軍隊の影響がこんな幼い子供にまで及んでいることを知った。アメリカの少年はとてもこんなことはできないだろう。直立不動の姿勢で、何の感情も見せず、涙も流さなかった。そばに行ってなぐさめてやりたいと思ったが、それもできなかった。もし私がそうすれば、彼の苦痛と悲しみを必死でこらえている力をくずしてしまうだろう。私はなす術もなく、立ちつくしていた」……。

焼き場に立つ少年

フランシスコ・ローマ法王は、昨年末、世界の教会関係者に向け、この写真のカードを配布しました。カードには「焼き場に立つ少年」と題し、法王の自署と「亡くなった弟を背負い、火葬の順番を待つ少年。少年の悲しみは、かみしめて血のにじんだ唇に表れている」とメッセージをしたためて、「核兵器は人類の平和と共存しない。この写真は、100の言葉よりも人の心を動かしている」と語っています。

先般、核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）がノーベル平和賞を受賞し、核廃絶への世界的うねりの胎動を感じました。約2年前から始まった「ヒバクシャ国際署名」に、わが国の首長の署名は都道府県・区市町村の計1788自治体の54・64％にあたる977自治体にのぼっています。阿南市長の私も、昨年6月に署名し、国連に提出されました。

申すまでもなく、現実的には日本はアメリカの核の傘に守られていますが、世界の人々は唯一の被爆国日本が核廃絶の主張を望むのは当然のことだと思っているはずです。

原爆の製造にかかわったオッペンハイマー博士は、核兵器に対抗する手段はあるのかとの質問に、こう答えました。「もちろんありますとも。平和です」と。